2022年度（令和4年度）東京藝術大学美術学部　科目等履修生（一般）募集要項

特定の研究目的をもって、本学部開設科目の履修を希望する者に対して、本要項の定めるところにより、選考のうえ履修を許可する。

1. 出願資格及び履修範囲

(1) 高等学校卒業以上の学歴を有する者。
(2) 前項と同等以上の学力があると大学が認めた者。
(3) 履修できる科目は、別紙対象科目のうち、2単位以上12単位以内に限る。
(4) 実技科目の履修は認めない。
※ 外国人志願者は、授業履修に支障のない日本語能力を有すること。

2. 募集人員　　若　干　名

3. 選考方法　　書類審査　~~及び　面接~~

4. 単位の認定　　授業科目を履修し、所定の試験等を受け、合格した者には所定の単位を与える。
（同一科目・同一内容の単位再加算はしない。）

5. 履修期間　　1年間　（2022年4月1日～2023年3月31日）

6. 出願方法等

① 出願方法	**郵便受付のみ**（大学に直接持参したものは受け付けない。）	
② 受付期間	**2021年11月22日(月)～2021年12月10日(金)**　※郵便局消印がこの期間内のものに限り受け付ける。	
③ 提出書類	(1) 科目等履修生願書	本学部所定の用紙
	(2) 最終学校の卒業(修了)証明書	本学部出身者は不要。
	※(2-2) 戸籍抄本1通(ｺﾋﾟｰ可)	※ 改姓して証明書と現在の氏名が異なる場合のみ提出。
	(3) 写真	願書の所定欄に貼付すること。
	(4) 小論文	履修希望科目ごとに受講の目的等を 2,000字以内にまとめ、提出すること。 （A4サイズの用紙を使用し、科目名・氏名を記入すること。）
	(5) 入学検定料収納証明書	「入学検定料収納証明書提出用紙」に貼付して提出すること。 （「7. 検定料の支払いについて」を参照のこと）
	(6) 返信用封筒	角型2号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、140円切手を貼付すること。
④ 出願手続	提出書類を封筒に入れ、**『美術学部科目等履修生願書在中』**と表面に朱書し、受付期間内に**書留郵便**で送ること。 **【送付先】　〒110-8714　東京都台東区上野公園12－8** **東京藝術大学　美術学部教務係**	
⑤ 面　接	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、今回は面接を実施しない。	

7. 検定料の支払いについて

金　額 ：9, 800円

支払期間 ： 2021年11月22日（月）～2021年12月10日（金）

支払方法 ： 下記のいずれかの方法で、出願書類の提出に間に合うよう、余裕をもって支払うこと。

① コンビニエンスストアでの支払（◆日本国内から）

【支払可能な店舗】

セブンイレブン、ローソン、ミニストップ

【支払手続】

・上記店舗内にある端末から必要事項を入力し、発券される「払込票／申込券」を持って、30分以内にレジで支払うこと。

・支払後、レシートとチケット（「**取扱明細書**」もしくは「**取扱明細兼領収書**」）を受け取ること。

【収納証明書の郵送】

コンビニエンスストアで支払いした際に受け取る「**取扱明細書**」もしくは「取扱明細兼領収書」の「**収納証明書**」の部分を切り取り、「**入学検定料収納証明書提出用紙**」の**①欄**に貼付して提出すること。

※ コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けていないので、必ず指定の端末にて手続を行うこと。

② クレジットカードでの支払（◆日本国内から　◆日本国外から）

【支払手続】

・本学「入学検定料支払い」ページ（https://e-apply.jp/n/geidai-net-research/）にアクセスし、「お支払い」から出願する入試を選んだ後、基本情報を入力すること。

・入力内容を確認し、「受付番号（12桁）」を必ず控えたうえで、支払画面に進むこと。

・カード名義は出願者本人でなくても構わない。ただし、画面で入力する基本情報は、必ず出願者本人のものを入力すること。

【収納証明書の郵送】

支払い後に上記URLまたは支払完了メールに記載されたURLへアクセスし、「**収納証明書**の印刷」からPDFファイルをダウンロードのうえ、印刷すること。印刷した用紙は「**入学検定料収納証明書提出用紙**」の**②欄**に貼付して提出すること。

検定料支払に関する注意事項

・上記支払方法①②は、いずれも入学検定料の他に手数料が別途かかる。詳細は次頁の ＜入学検定料支払方法のご案内＞ を確認すること。

・①②のいずれの方法においても支払いが困難な場合は、出願に間に合うよう早めに下記まで相談のこと。

美術学部教務係　　bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp

戦略企画課経理係　kaikei-keiri@ml.geidai.ac.jp

＜検定料の返還について＞

次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しない。

①検定料を振り込み、出願したが、受理されなかった場合

②検定料を振り込んだが、出願に必要な書類を提出しなかった場合

③検定料を誤って二重に振り込んだ場合

＜返還請求の方法＞

本学所定の用紙「検定料返還請求願（研究生・科目等履修生用）」を本学入試情報サイトよりダウンロードし、必要事項を記入、「収納証明書」を添付して、以下まで郵送すること。

東京藝術大学戦略企画課経理係 （〒110-8714　東京都台東区上野公園12-8）

・大学から志願者への返還金額は、振込手数料を差し引いた金額となる。

・検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。

・「返還請求願」受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月を要する。

・返還請求願の提出期限は2022年3月31日（木）（消印有効）とする。期限までに提出がない場合、検定料は返還しない

入学検定料支払方法のご案内

コンビニ端末でお申込みの場合（インターネット不要）

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

http://www.sej.co.jp

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。

学び・教育

↓

入学検定料等支払

LAWSON Loppi / MINISTOP Loppi

http://www.lawson.co.jp

http://www.ministop.co.jp

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。

「各種申込（学び）」を含むボタン

↓

学び・教育・各種検定試験

↓

大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

↓

大学院 を選択して 東京藝術大学（研究生・科目等履修生） をタッチし、

申込情報を入力して「払込票／申込券」を発券ください。

＊画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

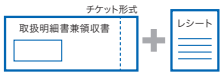
2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」（マルチコピー機）または「申込券」（Loppi）が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。

②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

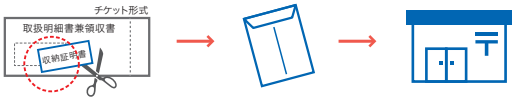
「取扱明細書」（マルチコピー機）または「取扱明細書兼領収書」（Loppi）。



＊お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
＊お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
＊すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、「入学検定料収納証明書提出用紙」に貼付して郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

クレジットカードでお申込みの場合

＜パソコン・スマートフォン＞

＊出願期間最終日のインターネットからのお申込みは23時までとなります。余裕を持ってご利用ください。
＊PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

本学「入学検定料支払い」ページにアクセス

https://e-apply.jp/n/geidai-net-research/

↓

お支払い から

画面の指示に従って出願する入試を選んだ後、基本情報を入力。

入力内容が表示されます。間違いがなければ、次のページで表示される「受付番号（12桁）」を必ず控えたうえ、お支払い画面に進んでください。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。
申込を確定する前に、内容をよくご確認ください。

クレジットカードでお支払い

VISA / mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS / MUFG CARD / DC / UFJ Card / NICOS

●お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。
但し、前段の画面で入力する基本情報は、必ず受験生本人のものを入力してください。

↓

お支払い後に上記URLまたは支払い完了メールに記載されたURLへアクセス（※1）し、

収納証明書の印刷 から

PDFファイルをダウンロードの上、印刷してください。

※1：お申込の際に発行された「受付番号（12桁）」が必要です。

上記URLからアクセス

※PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

8. 履修の決定及び入学手続

履修の可否及び入学手続については、2022年3月上旬(予定)に大学から文書で通知する。

<table>
<tr><td>入学手続き</td><td colspan="3">2022年3月下旬(予定)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">諸経費</td><td>入学手続時</td><td>入学料</td><td>28，200円　(予定額)(入学手続き完了後は、入学料の返還はしない。)</td></tr>
<tr><td>入学後
4月(予定)</td><td>授業料</td><td>1単位につき14，800円　(予定額)
(例:1科目2単位の場合／14，800円×2＝29，600円)</td></tr>
<tr><td colspan="4">※　その他の提出書類等、詳細については大学からの通知文で指示する。
※　[上野校地] 教室の場所 及び 授業時間割
・美術学部中央棟1・2階、総合工房棟B棟
・1限 9:00～10:30　2限 10:40～12:10　3限 13:00～14:30　4限 14:40～16:10　5限 16:20～17:50
科目によっては、時間割(曜日・時限・教室)等が変更となる場合があるので、注意すること。
新型コロナウィルス感染症の影響により、学内での授業実施が難しい場合、遠隔授業(オンライン)となることがある。
[授業期間]　前期:4月～7月　後期:10月～1月　学事暦等の詳細については、入学手続以降に通知する。</td></tr>
</table>

【注意事項】

・この募集要項発行後に諸経費が変更された場合は、変更後の額による。

・履修を許可された科目でも、事情により履修ができない場合は、履修生の申し出によりこれを取り消すことができる。
ただし、支払い済みの授業料等の返還はしない。

9. その他

・外国人については、履修が認められても在留資格(留学)には該当しない。

・科目等履修生には、学生旅客運賃割引制度(学割)は適用されない。

・単位修得者で証明書を必要とする者には、単位修得成績証明書を交付する。
本人からの申請により、成績発表日以降に交付する。

・この科目等履修生募集により本学が取得した個人情報は、入学者選抜や合格者の入学手続に係わる業務以外には一切、使用しません。

以　上

【美術学部科目等履修生募集に関する問合せ先】
東京藝術大学　美術学部教務係
TEL: 050－5525－2124
email: bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp

2022年度 科目等履修生(一般)

対 象 科 目

科目等							面接	
整理番号	授業科目名	期間	担当教員	曜日	時限	単位	日時	場所
①－1	**日本･東洋建築史Ⅰ**	**前期**	光井 渉	金	3	2		
①－2	**日本･東洋建築史Ⅱ**	**後期**	光井 渉	金	3	2		
②	**建築概論Ⅰ**	**前期**	中山 英之	金	2	2		
③	**建築概論Ⅱ**	**後期**	樫村 芙実	金	2	2		
④－1	**西洋建築史Ⅰ**	**前期**	長谷川 香	月	3	2		
④－2	**西洋建築史Ⅱ**	**後期**	長谷川 香	月	3	2		
⑤－1	**美学史概説Ⅰ**	**前期**	川瀬 智之	金	4	2		
⑤－2	**美学史概説Ⅱ**	**後期**	川瀬 智之	金	4	2		
⑥－1	**日本美術史特講Ⅰ**	**前期**	佐藤 道信	火	3	2		
⑥－2	**日本美術史特講Ⅱ**	**後期**	佐藤 道信	火	3	2		
⑦	**西洋美術史概説Ⅰ**	**前期**	田辺 幹之助	火	3	2		

2022年度　科目等履修生(一般)

対 象 科 目

科　　目　　等							面　　接	
整理番号	授 業 科 目 名	期間	担当教員	曜日	時限	単位	日　時	場　所
⑧	西洋美術史概説Ⅱ	後期	越川 倫明	火	3	2		
⑨－1	デザイン概説Ⅰ	前期	藤崎　圭一郎	金	4	2		
⑨－2	デザイン概説Ⅱ	後期	藤崎　圭一郎	金	4	2		
⑩－1	美術解剖学　人とかたち（前期）	前期	宮永　美知代	水	3	2		
⑩－2	美術解剖学　人とかたち（後期）	後期	宮永　美知代	水	3	2		

≪面接について≫

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、今回は面接を実施しません。

≪小論文について≫

履修希望科目ごとに受講の目的等を 2,000字以内にまとめ、提出してください。
用紙はA4サイズとし、科目名・氏名を記入のこと。
〇－1、〇－2のように枝番号のある科目は、一つにまとめて提出することで構いません。

＜注意＞　同一の授業時間割(曜日・時限)において、異なる授業を(重複)履修することはできません。

2022年度 科目等履修生(一般)

対象科目講義概要一覧

科目名	①－1 **日本・東洋建築史Ⅰ**	担当教員	**光井　涉**	学 期	**前 期**

「日本・東津建築史」は、日本列島で展開した建築と都市・集落について概観するもので、前期開講のⅠでは
主に中世以前の宗教建築と都市について扱います。
講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、代表的な建築作品等の紹介を通じて
多種多様な建築の形の意味とその背景にある技術の在り方を考えていきます。

各回のテーマは下記のものを予定しますが、進行状況に応じて適宜変更する可能性があります。

1　日本の建築(ガイダンス)
2　建築の誕生(原始住居の住居)
3　美意識の誕生(神社建築の形式)
4　技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)
5　空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺院2)
6　都市の誕生(平城京と平安京)
7　都市住宅の形(御所と寝殿造)
8　和様の感覚(平安時代の建築)
9　災害と復興(大仏様)
10　禅宗の建築(禅宗様)
11　中世的世界の建築(密教建築)
12　上野台地に残る歴史的建築
13　試験

※教材(講義中に使用):光井渉・太記祐一『カラー版　建築と都市の歴史』(井上書院)
　を毎回の講義で使用するので、必ず入手して持参すること
※参考図書:光井渉『日本の伝統木造建築』(市ヶ谷出版社)
※ 「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること

科目名	①－2 **日本・東洋建築史Ⅱ**	担当教員	**光井　涉**	学 期	**後 期**

「日本・東津建築史」は、日本列島で展開した建築と都市・集落について概観するもので、後期開講のⅡでは
主に中世以後の住宅建築と都市・集落、庶民住居について扱います。
講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景とともに代表的な建築作品等を
紹介し、現代の生活空間に継承されている多種多様な建築の形の意味を考えていきます。

各回のテーマは下記のものを予定しますが、進行状況に応じて適宜変更する可能性があります。

1　舗設から部屋へ(中世住宅)
2　もてなしの空間(座敷飾りと書院造)
3　綺麗と数寄(茶室)
4　近世住宅の完成(数寄屋)
5　戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)
6　権力の象徴(城郭建築)
7　現代都市の起源(城下町)
8　町に暮らす(町並と町家)
9　村に暮らす(農村と農家)
10　専用住居の誕生(武家住宅)
11　賑わいの空間(近世寺社境内)
12　芸大周辺の歴史的建築見学
13　試験

※教材(講義中に使用):光井渉・太記祐一『カラー版　建築と都市の歴史』(井上書院)
　を毎回の講義で使用するので、必ず入手して持参すること
※参考図書:光井渉『日本の伝統木造建築』(市ヶ谷出版社)
※ 「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること

2022年度 科目等履修生(一般)

対象科目講義概要一覧

科目名	② **建築概論Ⅰ**	担当教員	**中山 英之**	学 期	**前 期**

前半／建築設計を組み立てていく思考の多様性を、いろいろな角度から考えていきます。
後半／ 学生が建築をめぐる議論を広く知り、議論を行うことができるように解説を行います。

前半／中山 英之
1 イントロダクション
2 絵画と建築
3 写真と建築
4 映画と建築
5 ファッションと建築
6 童話や文学と建築
7 音楽や映像と建築
8 プロダクトデザインと建築

後半／藤村 龍至
9 意匠と建築
10 設計プロセスと建築
11 作家性と建築
12 社会と建築
13 技術と建築
14 思想と建築
15 建築家とはなにか

〈順番や内容は変動します〉

科目名	③ **建築概論Ⅱ**	担当教員	**樫村 芙実**	学 期	**後 期**

日本・海外の建築を広く扱い、気候や文化的背景の異なる多様な建築を概観します。
建築と人との関わりをひも解き、その知恵やアイディアを明らかにする中で、「建築とは何か」を考えます。

1 イントロダクション／建築とそのはじまり
2 暑さと建築
3 寒さと建築
4 小ささと建築
5 大きさと建築
6 集団と建築
7 暗さ/明るさと建築
8 重さ/軽さと建築
9 貧しさ/豊かさと建築
10 古さ/新しさと建築
11 神聖さと建築
12 地形と建築
13 発表

科目名	④－1 **西洋建築史Ⅰ**	担当教員	**長谷川 香**	学 期	**前 期**

古代エジプト、オリエントをおさえたうえで、古代ギリシャ・ローマから
中世のロマネスク、ゴシックにいたるまでの西洋建築の歴史について学ぶ。
また、それらの過去の建築がこれまでどのように評価されてきたのかを通じて、過去と現代を俯瞰的に捉える視点を養う。

1 ガイダンス:西洋建築史を学ぶにあたって
2 古代エジプト
3 古代オリエント
4 古代ギリシャ1:建築
5 古代ギリシャ2:都市
6 古代ローマ1:建築
7 古代ローマ2:都市
8 ヴィザンチン・イスラム
9 初期キリスト教建築
10 プレ・ロマネスク
11 ロマネスク1:建築
12 ロマネスク2:都市
13 予備
14 予備
15 予備

(参)「西洋建築史図表」 日本建築学会編 彰国社

2022年度 科目等履修生(一般)

対象科目講義概要一覧

科目名	④－2 **西洋建築史Ⅱ**	担当教員	**長谷川 香**	学 期	**後 期**

ルネサンスからバロックにいたるまでの西洋建築の歴史について学ぶ。
また、それらの過去の建築がこれまでどのように評価されてきたのかを通じて、過去と現代を俯瞰的に捉える視点を養う。

1　ゴシック1:概説
2　ゴシック2:フランス
3　ゴシック3:イングランド、ドイツ、イタリア
4　ルネサンス1:概説
5　ルネサンス2:初期ルネサンス
6　ルネサンス3:盛期ルネサンス
7　ルネサンス4:都市
8　マニエリスム
9　バロック1:建築
10　バロック2:都市
11　ロココ
12　近代へ
13　予備
14　予備

(参)「西洋建築史図表」 日本建築学会編　彰国社

科目名	⑤－1 **美学史概説Ⅰ**	担当教員	**川瀬　智之**	学 期	**前 期**

この授業では、西洋における美学の歴史を、古代ギリシアから近現代のドイツ・フランスに至る代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。場合によっては、それらの思想と、特に近現代の芸術作品との関連についても論じる。それによって、西洋の古代以来の思想が、いかに芸術の制作や鑑賞に対して影響を及ぼしてきたかを理解することができる。具体的な計画は以下のとおり。

1. イントロダクション　2. プラトン　3. アリストテレス　4. プロティノス　5. レッシング　6. ゲーテ
7. カント　8. シェリング　9. ヘーゲル　10. エマソン　11. ボードレール　12. ニーチェ
13. フィードラー　14. リルケ、ベルクソン　15. ハイデッガー

科目名	⑤－2 **美学史概説Ⅱ**	担当教員	**川瀬　智之**	学 期	**後 期**

この授業では、近現代のドイツ・フランスと日本における美学の歴史を、各国の代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。場合によっては、それらの思想と、芸術作品との関連についても論じる。それによって、西洋と日本の美学思想が、いかに具体的な芸術制作や鑑賞と関連を持っているかについて理解することができる。具体的な計画は以下のとおり。

1. ベルクソン、バゼーヌ　2. アラン　3. マリタン　4. バシュラール　5. ベンヤミン
6. サルトル　7. メルロ＝ポンティ　8. デュフレンヌ　9. マルディネ　10. アンリ
11. ダントー、ディッキー　12. 鈴木大拙　13. 唐木順三　14. 今道友信　15.桑原武夫、鶴見俊輔

2022年度 科目等履修生(一般)

対象科目講義概要一覧

科目名	⑥－1 **日本美術史特講Ⅰ**	担当教員	**佐藤 道信**	学 期	**前 期**

美術史 オムニバス

本年度は、これまでに行ってきた研究の中から、年間を通した講義テーマとしては
やや馴みにくい各種のテーマやトピックを、順不同でご紹介したいと思います。

・「日本画」の支持構造 ― 「日本」「国家」「国民」「大衆」「市民」
・「素描」概念の成立
・日本美術協会 ― 近代最大の美術団体
・「美術」「美術史」「美術史学」のなかの浮世絵
・自国画と西洋画 ― 絵画の二重構造
・彫刻の近代 ― 西洋・日本、公と私
・近代になぜ図案は重要だったのか ― “倣う”から“創る”へ
・“理想化”の南画、“現実化”の洋画

・評価方法　　：レポートと出席で評価します。
・オフィスアワー：火曜日　16:20 ～ 18:00
・現時点では対面による講義形態を想定しています。状況によって変更の可能性があります。

科目名	⑥－2 **日本美術史特講Ⅱ**	担当教員	**佐藤 道信**	学 期	**後 期**

美術史 オムニバス

本年度は、これまでに行ってきた研究の中から、年間を通した講義テーマとしては
やや馴みにくい各種のテーマやトピックを、順不同でご紹介したいと思います。

・明治以前の美術コレクション
・洋画の近世と近代
・岩彩画 ― 古典というアイデンティティ
・自国美術史は誰がつくるのか
・人から人“ 間 ”へ ― 個としての人体
・オリジナルと複製 ― 機械と人間
・人間のアイデンティティ ― 人型ロボット
・宇宙観の歴史 ― 宇宙、人間、神の認識論

・評価方法　　：レポートと出席で評価します。
・オフィスアワー：火曜日　16:20 ～ 18:00
・現時点では対面による講義形態を想定しています。状況によって変更の可能性があります。

2022年度 科目等履修生(一般)

対象科目講義概要一覧

科目名	⑦ **西洋美術史概説Ⅰ**	担当教員	**田辺 幹之助**	学 期	**前 期**

中世の前半、およそ4世紀から10世紀のヨーロッパの美術史を概観します。古代帝国が崩壊し、新たな美術の思想的背景としてキリスト教が浮かび上がり、また新たな美術の担い手として非地中海的な、北方の諸民族が登場することで、古代の何が継承され、何が加えられ、どのような変容がもたらされたのかを、具体的な作品を取り上げながら解説してゆきます。取り扱うのは、古代末期の初期キリスト教時代、ビザンチン、プレ・カロリング、インスラー、カロリング朝の美術です。

科目名	⑧ **西洋美術史概説Ⅱ**	担当教員	**越川 倫明**	学 期	**後期**

この授業では、西洋美術の展開の流れを、主に14世紀から17世紀のイタリア絵画の展開を中心に見ていきます。
中世後期からルネサンス、初期バロックの時代に相当します。この時代に西洋の美術は大きな変貌をとげました。
空間を再現する能力、人間の個性を表現する能力など、美術の表現のポテンシャルが大きく拡大した時期にあたります。
その大きな変化の過程を、半期の授業のあいだに順を追って紹介していく予定です。

科目名	⑨－1 **デザイン概説Ⅰ**	担当教員	**藤崎 圭一郎**	学 期	**前 期**

21世紀のデザイン、エシカル(倫理的)とクリティカル(批評的)という2つの軸から
現代において「デザイン」とは何かを考える。

1. ガイダンス＋あなたにとってデザインとは
2. デザインの定義①人工物と生物進化
3. デザインの定義②語源と歴史
4. デザインの定義③幸福とデザイン
5. 正直なデザインとスタイリングデザイン
6. ブランディング①(スウォッチ、無印良品、ローソン、エルメス)
7. ブランディング②(CI、記号論、キヤノンとコラーニ)
8. ベネトンの広告(広告の可能性と危険性)
9. バッドデザイン　清水久和先生特別講義
10. 二項対立
11. PINK
12. コモン
13. デザイン思考
14. 創造性とは何か①解像度とミュータント
15. 創造性とは何か②仮説構築、共感＆自己言及

2022年度 科目等履修生(一般)

対象科目講義概要一覧

科目名	⑨－2 **デザイン概説Ⅱ**	担当教員	**藤崎 圭一郎**	学 期	**後 期**

19～21世紀デザイン史をもとに、「近代」とは何かを考える。

1. デザインから見た近代
2. 大量生産と手仕事(機械化とアーツ＆クラフツ運動)
3. 2010年代のデザイン。ミラノサローネ最新動向(土田貴宏 講義)
4. 未来のビジョンとアール・ヌーヴォー
5. ウィーン工房、グラスゴー派、ガウディ
6. 未来派、ロシアアヴァンギャルド
7. デ・ステイル、バウハウス①
8. バウハウス②
9. バウハウス③ アールデコ アメリカのインダストリアルデザイン
10. ル・コルビュジエ
11. チャールズ＆レイ・イームズ
12. 近代・現代を貫くデザインの美学と思想①
13. 近代・現代を貫くデザインの美学と思想②アノニマス、批評性
14. ポストモダン
15. デザインはどこへ向かう

科目名	⑩－1 **美術解剖学 人とかたち (前期)**	担当教員	**宮永 美知代**	学 期	**前 期**

人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。
美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。
※ 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。
ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。

科目名	⑩－2 **美術解剖学 人とかたち (後期)**	担当教員	**宮永 美知代**	学 期	**後 期**

人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。
美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。
※ 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。
ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。

２０２２年度 東京藝術大学美術学部

科目等履修生（一般）願書

フリガナ		男・女
氏　名		
生年月日	西暦 昭和・平成　　年　　月　　日（満　　歳）	
本　籍 （都道府県・国名のみ）		

【写真貼付】

・タテ4㎝×ヨコ3㎝
・脱帽上半身正面向
・出願前3ケ月以内に撮影したもの

現住所 （連絡先）	〒　　－					
電話番号		e-mail				
略　歴						
※本学出身者は在学時の学生番号を記入	学部		修士		博士	
学　歴 （高校卒業から）	年　月					
	年　月					
	年　月					
	年　月					
	年　月					
職　歴	年　月					
	年　月					
	年　月					
賞　罰						

履修希望科目							※大学記入欄
科目名	期間	曜日	時限	担当教員名	単位数	備考	判定
	□ 前期 □ 後期						
	□ 前期 □ 後期						
	□ 前期 □ 後期						
	□ 前期 □ 後期						
	□ 前期 □ 後期						
	□ 前期 □ 後期						

※ 該当する期間を ■ にしてください。

以上の記載事項のとおり相違ありません。

年　　月　　日　　本人署名 ：

2022 年度

美術・科目等履修生

入学検定料収納証明書提出用紙

太枠内を必ず記入すること。

受験区分	■一般履修生　　□資格履修生
フリガナ	
志願者氏名	
アルファベット	
自宅電話番号	
携帯電話番号	
メールアドレス	@

①コンビニエンスストアから支払をした場合

支払後に受け取る「取扱明細書」もしくは「取扱明細兼領収書」の「収納証明書」の部分を切り取り、下記①欄に貼り付けること。

②クレジットカードで支払をした場合

支払後に指定の URL へアクセスして印刷した「取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り、下記②欄に貼り付けること。

①
コンビニ支払
収納証明書貼付欄

②
カード支払
収納証明書
貼付欄